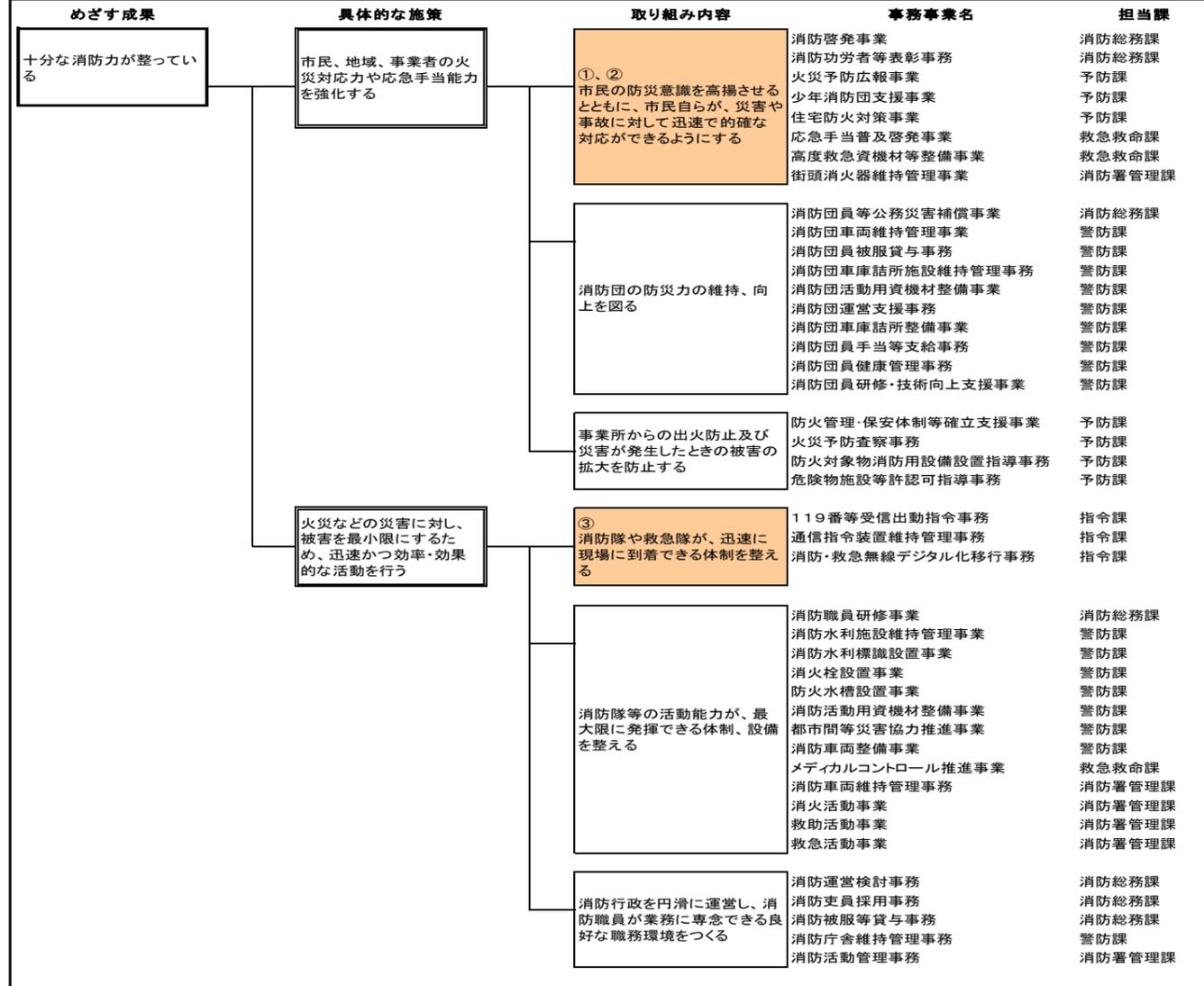


「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

3-2-3 十分な消防力が整っている

総合計画体系	健康領域・基本目標	まちの健康・安全と安心が感じられるまち
	個別目標	災害への対応力を高める
	めざす成果	十分な消防力が整っている 迅速な消防体制、救命救急体制と地域の防災対応力が維持され、火災や事故による被害が最小限に抑えられています。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②		総合計画掲載指標③	
火災発生率（10,000人当たり）		救急講習受講者資格取得者数（累計）		救急車の現場到着までの所要時間	
計画策定時	3.0件	計画策定時	10,190人	計画策定時	6.2分
現状値		現状値		現状値	
実績値（H21）	3.5件	実績値（H21）	13,142人	実績値（H21）	6.2分
中間目標値（H23）	2.7件	中間目標値（H23）	16,190人	中間目標値（H23）	6.2分
目標値（H25）	2.6件	目標値（H25）	19,190人	目標値（H25）	6.2分

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

主な取り組み内容	<p>【市民、地域、事業者の火災対応力や応急手当能力を強化する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の防火防災意識を高揚させるとともに、市民、事業者自らが、災害等に対して迅速かつ的確に対応できるよう通報、避難誘導、初期消火等の指導を行いました。 応急手当能力を強化するため、普通救命講習、上級救命講習など各種講習を開催しました。 <p>【火災などの災害に対し、被害を最小限にするため迅速かつ効率・効果的な活動を行う】</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防隊や救急隊が、迅速に現場に到着できる体制の整備を図りました。 消防隊等の活動能力が最大限に発揮できる体制の整備を図りました。 消防行政を円滑に運営し、職員が業務に専念できる良好な職務環境づくりを図りました。
----------	--

構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	<ul style="list-style-type: none"> 市民の安全・安心を確保するためには、市民一人ひとりの努力はもちろんのこと、市行政、地域、事業者等がそれぞれの特徴を活かしつつ連携し、役割を果たしていくことが重要です。 また、市民自らが迅速に対応するための火災対応力や応急手当能力を強化するとともに、被害を最小限にするための消防力の整備及び効率的、効果的な消防活動を確立する必要があります。
-------------------------	--

今後の展開方針	注）例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	
新規事業の立案	<ul style="list-style-type: none"> 耐震診断結果から消防本部車庫棟の耐震補強工事を行います。また、消防庁舎の老朽化、狭隘化に伴い消防署柳橋出張所の増築及び改修を行い、救急隊の常時配備など消防力の強化を図る必要があります。 	<p>（該当する事務事業）</p> <p>(仮)消防本部大規模改修事業 (仮)消防署柳橋出張所増築及び改修工事事業</p>
既存事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 災害に対し迅速かつ効率的・効果的に対応するため、車両動態位置管理システムの更改及び消防・救急無線デジタル化移行に向けた実施設計を行います。 消防団車庫詰所（第7分団、第3分団2班）の老朽化に伴い建替えを行い消防力の充実強化を図ります。 応急手当の普及促進及び応急手当能力向上に向けた講習会を積極的に開催するため、再任用職員の活用を図ります。 	<p>（該当する事務事業）</p> <p>通信指令装置維持管理事務 消防・救急無線デジタル化移行事務 消防団車庫詰所整備事業 応急手当普及啓発事業</p>
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度に、近年における車両性能及び耐久性の向上と、更新対象車両の状態を考慮した「消防車両等更新基本計画」を見直し、消防車両等の年間コストの削減を図ります。 	<p>（該当する事務事業）</p> <p>消防車両整備事業</p>
その他見直し		（該当する事務事業）

施策への提言	
総合計画審議会記入欄	*平成23年度の審議予定となっています。